

六 福利法ヲ科出スルコト
五 賃金二賦ヲ課スルコト

（附テリ）

四 福利法科出スルコト（前案ハ工場内ニ一箇ノスルコトナシ）
ハ 賃金賦課ノ家数減額減額ノハ前案ニ準ジテ前案並ニ減額支給

三 賃金賦課額支手當支給ノ科
ロ 前案三日以上五日未満減額支給額全一箇月以上八月未満半箇月
ハ 前案賃金賦課額減額ニ準ジテハ前案並ニ減額支給

二 賃金賦課額支手當支給ノ科
ロ 前案三日以上五日未満減額支給額全一箇月以上八月未満半箇月
ハ 前案賃金賦課額減額ニ準ジテハ前案並ニ減額支給

一 賃金賦課額支手當支給ノ科
ロ 前案三日以上五日未満減額支給額全一箇月以上八月未満半箇月
ハ 前案賃金賦課額減額ニ準ジテハ前案並ニ減額支給

財團法人協同會大阪支所

七 解雇手當支給ノコト

（一ヶ月未満二ヶ月分一ヶ月ヲ増ス毎ニ三日分加算ノ事）

工場側ハ此ノ要求ヲ拒絶シタ今福警察署高等係津田巡查部長ハ十六日正午勞資双方共ニ警察署ニ出頭セシメタソシテ調停セントシタガ何等要領ヲ得ナカツタ

ソシテ工場主ハ職工代表ニ十七日午後二時工場事務室ニ於テ會見スルコトヲ約シタ

十七日午後一時頃工場ノ代表者ト職工代表萩村泰造、三原長造ハ會見シ津田巡查部長ハ立會ツタ

工場側ヨリハ職工側ノ要求書ニ對シ次ノ如ク返答シタノデ職工側モ之ヲ諒トシ問題ハ解決シタ。

因ニ職工ハ十八日ヨリ就業スル様ニナツタ

要求事項 會社側返答

第一條ハ 否 認

第二條ハ 是 認